

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より市政に対しご支援とご協力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

本市は、昨年8月、合併による新市誕生から10周年を迎え、この節目を新たなスタートとして、本市を次の世代に誇りを持って引き継いでいけるよう、一層の努力をお誓いしたところでございます。

そのような中、交通の要衝である本市の海の玄関口「八代港」は、コンテナ取扱量が過去最高を記録し、またその一方で、昨年、海外から延べ10隻の大型クルーズ客船が寄港し、4万人を超える方々がお越しになるなど、人流、物流ともに兼ね備えた、国際拠点港としての地位を確立しつつあります。

加えて、昨年、台湾「基隆港」と締結しました「友好交流確認書」に基づき、新たなコンテナ航路の誘致をはじめ、経済、文化等の様々な分野における交流も期待される所です。

更に、今年の秋に予定される「八代妙見

祭」のユネスコ無形文化遺産への登録や、県南フードバレー構想に沿った特産物の海外販路の開拓など、これから八代市は、様々な分野で国内外から注目されることとなります。

魅力ある八代の地域資源や都市としてのポテンシャルを磨き上げ「誰もが将来に希望を持って安心して暮らせる、活気に満ち活気あるやつしろ」のまちづくりを、全力で取り組むこととして、います。昨年10月には、その指針となる「八代市総合戦略」を策定いたしました。

地方自治体を取り巻く環境は大変厳しい状況ではありますが、地方の創生に向けた本戦略の取り組みを着実に推進して参る所存でございます。

本年も市政に対しまして変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げますとともに、新しい年が、市民の皆様にとりまして、健康で喜びと幸せに満ちた一年となりますことを心からお祈りいたしまして、年頭のご挨拶といたします。

八代市長 中村 博生

瑞祥新春



新年のごあいさつ

恭賀新年



市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお健やかに迎えのこと、心からお慶び申し上げます。

年頭にあたり、八代市議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、我が国では、2020年の東京オリンピック開催に向けた準備が着々と進められ、その気運が高まってきている所です。昨年は、スポーツ界においては、ラグビーワールドカップでの五郎丸選手や男子フィギュアスケートの羽生結弦選手といった日本人選手の活躍に日本中が歓喜いたしました。しかしながら、鬼怒川の堤防決壊による甚大な被害の発生や日本各地での火山活動の活発化、政治においては、安全保障関連法案の成立、TPP協定の大筋合意など、今後も注視すべき様々な出来事もありました。また、海外では、度重なる連続テロ事件の発生や中国経済の減速などにより、世界情勢も今後益々不透明なものとなる所が懸念されます。

今、全国の自治体には、地方創生による地域独自の取り組みが求められている

中、本市におきましては、合併10周年の節目を迎え、新環境センターの建設や八代港の機能拡充、八代妙見祭のユネスコ無形文化遺産登録への取り組みが進んでおります。しかし一方では、人口減少や高齢化の問題に対応するため、雇用の創出や経済の活性化、子育て環境の充実など、次世代を担う若い方々が、夢を持ち希望に満ちた生活を営むことができる施策の展開が依然として急務となっております。

本年は申年、「申」は、「伸ばす」という意味があり、「草木が十分に伸び、実が熟成して固い殻に覆われていく時期」をいいます。我々、市議会としましては、本市が将来に渡って真に活気に満ち、誇りをもって生活ができる「ふるさと」となるよう全力で取り組んでまいりますので、市民の皆様のお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

どうか、本年が素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

八代市議会議長 鈴木田 幸一